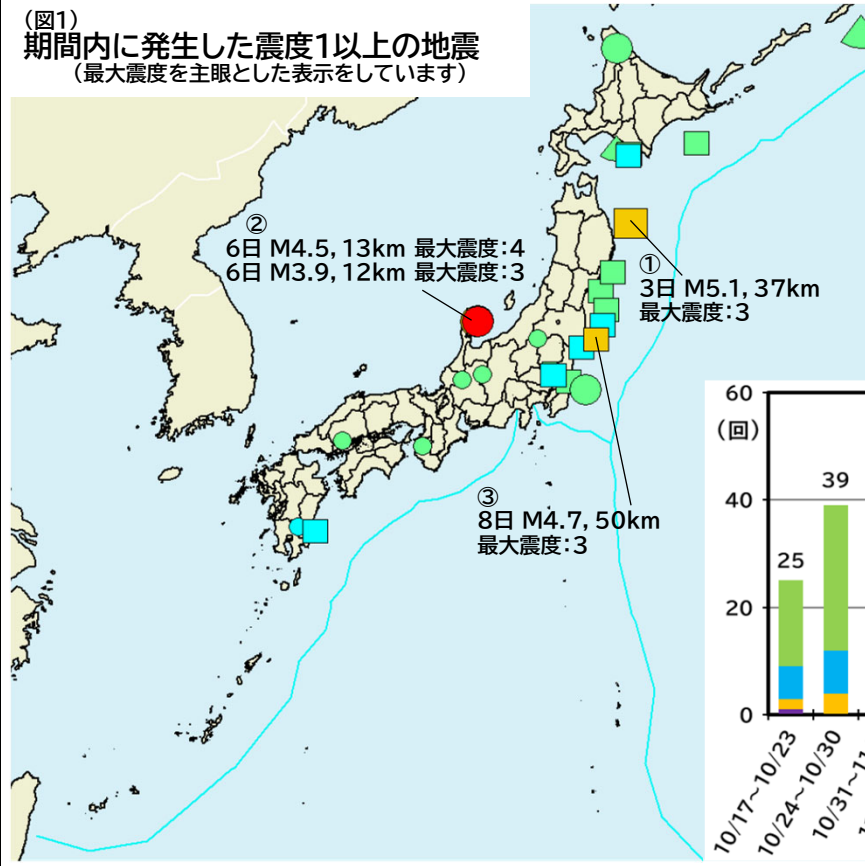


この期間の最大震度は4

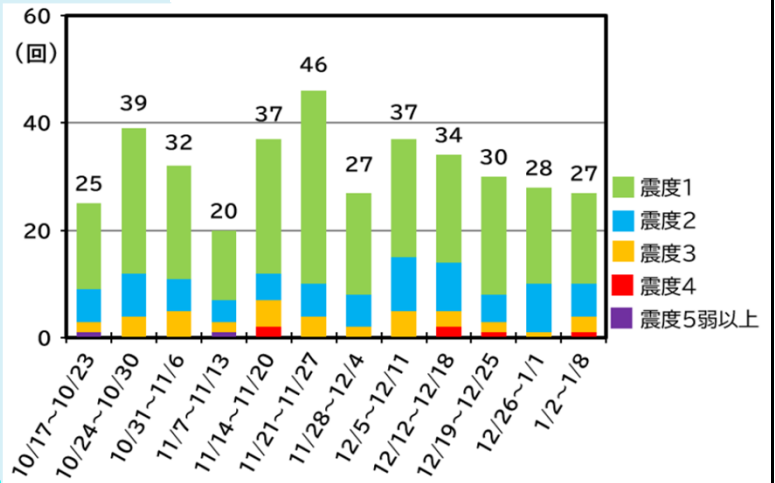
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震 (最大震度を主眼とした表示をしています)



最大震度	マグニチュード	深さ(km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が27回発生。最大震度は4。■
- ①3日16時08分に岩手県沖で発生した地震(M5.1、深さ37km)により、岩手県普代村で震度3を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度2~1を観測。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。
- ②6日13時44分に石川県能登地方で発生した地震(M4.5、深さ13km)により、石川県珠洲市で震度4を観測したほか、新潟県から岐阜県にかけて震度3~1を観測。同日23時53分(M3.9、深さ12km)にも石川県珠洲市で震度3、能登町で震度2、輪島市で震度1を観測する地震が発生した(トピックス参照)。
- ③8日10時16分に福島県沖で発生した地震(M4.7、深さ50km:速報値)により、福島県福島市・郡山市・双葉町・浪江町などで震度3を観測したほか、岩手県から千葉県及び新潟県で震度2~1を観測。

トピックス

■ 石川県能登地方(能登半島北東部)の地震活動 ■

- ・6日最大震度4(M4.5)を観測した能登半島北東部では、2020年12月から地震活動が頻発しており現在も継続している(図3)。
- ・これまでに発生した最大規模の地震は、2022年6月19日に発生したM5.4(珠洲市で最大震度6弱)。
- ・一連の地震活動は、東西約15km、南北約15kmの領域で発生し、大きく4つのグループ(図4のa~dの緑破線)に分かれており、aとb領域での地震活動が活発。
- ・2022年6月19日に珠洲市で最大震度6弱を観測した地震、及び6日に最大震度4を観測した地震(M4.5)は、共にb領域で発生した。
- ・地震調査委員会は、「地殻変動の観測及び解析結果を踏まえると、地震活動域周辺の地下に、現在の地殻変動及び地震活動を発生させている原因となるものが存在していると考えられる」と評価した。同時に、今回の地震活動や地殻変動に流体が関与している可能性が考えられるが、流体がどのように関与しているかはわかっていないとも言っている。
- ・これらの地域で発生する地震の原因究明が進んでいるようですが、この地域の活動は、しばらく続くと考えられるので発生状況などに注意してください。

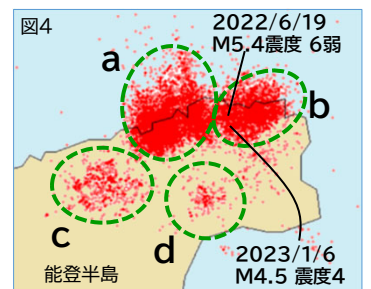
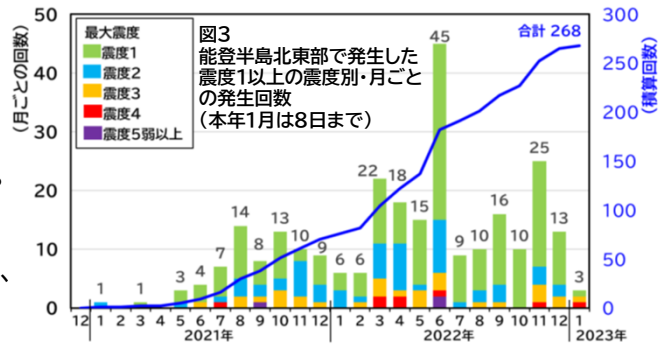


図4:震央分布図 2020年12月1日~2023年1月8日 M≥1.0 →